

平成30年度こども霞が関見学デー 特定非営利活動法人全国検定振興機構加盟団体による 「検定試験体験プログラム」報告書



目 次

1. 検定試験体験プログラム実施概要	P 3
2. 運営組織	P 4
3. 出展団体企画内容	P 5
4. 会場案内図	P 6
5. 参加者アンケート結果	P 7
6. まとめ	P 13

参 考

平成30年度「こども霞が関見学デー」について

「こども霞が関見学デー」は、文部科学省をはじめとした府省庁等が連携して、業務説明や省内見学などを行うことにより、親子の触れ合いを深め、子供たちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、府省庁等の施策に対する理解を深めてもらうことを目的とした取組です。今年は、8月1日（水曜日）、2日（木曜日）に、26府省庁等が業務説明や職場見学等を実施します。

・対象：小・中学生・幼児等
（原則として保護者同伴）

・期間：平成30年8月1日（水曜日）・2日（木曜日）

当日は、子供たちの興味に合わせて霞が関を自由に歩くことができるよう、参加者に各府省庁等のプログラムと地図が入った「霞が関こども旅券」（パスポート）を配付します。

<参加府省庁等>

内閣官房、人事院、内閣府、宮内庁、公正取引委員会、警察庁、個人情報保護委員会、金融庁、消費者庁、復興庁、総務省、法務省、外務省、財務省、国税庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、特許庁、国土交通省、気象庁、環境省、防衛省、会計検査院、国立国会図書館

文部科学省HPより http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kengaku/

1. 検定試験体験プログラム実施概要

- 日 時：2018年8月1日（水）・8月2日（木）10時～16時
- 場 所：文部科学省東館3F 1特別会議室
- 目 的：

検定試験の社会的活用促進のため、広く一般来場者に検定試験について知ってもらい、関心を持ってもらう。

将来的に、検定フェスティバルに向けて、全国検定振興機構と加盟団体の連携を強め、運営ノウハウを蓄積していく。
- 内 容：

来場する親子に民間検定試験について知ってもらうため、検定試験の体験や取り組みの紹介をする。

体験ブース会場内に設営された駄菓子屋でお菓子やおもちゃと交換できるエコマネーがもらえる「だがしや楽校」を実施し、検定団体と参加者の関わりを深める。
- 体験対象者：来場者誰でも可能
- 運営組織
 - 主 管 文部科学省 生涯学習政策局 生涯学習推進課
 - 主催団体 特定非営利活動法人 全国検定振興機構
 - 協力団体 学校法人 香川栄養学園
 - 公益社団法人 色彩検定協会
 - 特定非営利活動法人 世界遺産アカデミー
 - 一般財団法人 中央工学校生涯学習センター
 - 公益財団法人 日本編物検定協会
 - 公益財団法人 日本英語検定協会
 - 特定非営利活動法人 日本語検定委員会
 - 公益財団法人 日本数学検定協会
 - 日本情報処理検定協会
 - 特定非営利活動法人 教育支援協会南関東

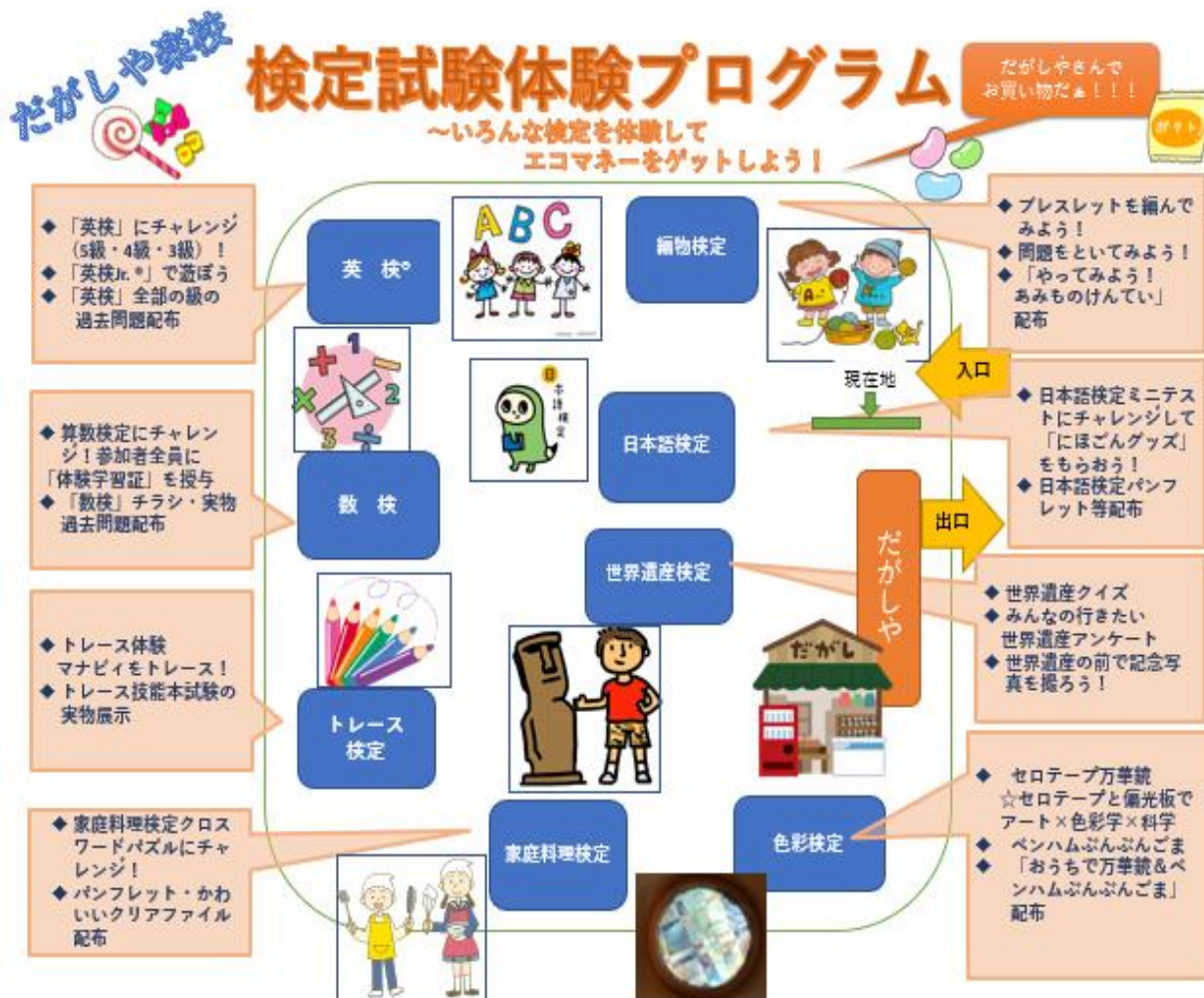
2. 運営組織

総合責任者	吉田 博彦	特定非営利活動法人 全国検定振興機構 理事長
統括責任者	田中 靖子	特定非営利活動法人 全国検定振興機構 事業局長
統括責任者	山本 瑞穂	特定非営利活動法人 全国検定振興機構 事務局
運営補佐	渡辺 賢治	特定非営利活動法人 全国検定振興機構 事務局
運営補佐（誘導）	上阪 修一	特定非営利活動法人 全国検定振興機構 事務局
運営補佐（誘導）	金指 重一	特定非営利活動法人 全国検定振興機構 事務局
ブース責任者	相原 晶子	学校法人 香川栄養学園
ブース責任者	山中 雄市	公益社団法人 色彩検定協会
ブース責任者	下矢 友香	特定非営利活動法人 世界遺産アカデミー
ブース責任者	佐藤 浩二	一般財団法人 中央工学校生涯学習センター
ブース責任者	越川 陽子	公益財団法人 日本編物検定協会
ブース責任者	板津 敏	公益財団法人 日本英語検定協会
ブース責任者	萩原 民也 植木 智広	特定非営利活動法人 日本語検定委員会
ブース責任者	尾高 克幸	公益財団法人 日本数学検定協会
だがしや楽校 運営責任者	中原 ゆみ	特定非営利活動法人 教育支援協会南関東
運営協力者	長村 清高	日本情報処理検定協会

3. 出展団体企画内容

N O.	法人名	出展内容		
1	学校法人 香川栄養学園	①“料検”クロスワードパズルにチャレンジ	②キャラクターの塗り絵にチャレンジ（幼児対応）	
2	公益社団法人 色彩検定協会	①セロハンテープ万華鏡	②ベンハムぶんぶんゴマ	
3	特定非営利活動法人 世界遺産アカデミー	①みんなの行きたい世界遺産アンケート	②世界遺産の前で記念写真を撮ろう！	③世界遺産クイズ
4	一般財団法人 中央工学校生涯学習センター	①トレース体験マナビイをトレースしよう	【展示】トレース技能本試験の実物	
5	公益財団法人 日本編物検定協会	①かぎ針でブレスレットを編む	②クイズ形式の模擬問題を解く	【展示・配布】パンフレット（やってみよう！あみものけんてい）・広報パネル
6	公益財団法人 日本英語検定協会	①「実用英語技能検定」（抜粋版）にチャレンジ！	②「英検」r.」にチャレンジ！	③【展示・配布】英検の全級（1級～5級）の問題冊子・検定案内チラシ・各種パンフレット
7	特定非営利活動法人 日本語検定委員会	①日本語検定ミニテスト実施	【展示】日本語検定概要パネル/日本語検定問題パネル/日本語検定過去問題/日本語検定テキスト	【配付】日本語検定パンフレット/日本語検定リーフレット/日本語大賞チラシ
8	公益財団法人 日本数学検定協会	①数学検定/算数検定の模擬検定にチャレンジ！体験者には「体験学習証」を授与	②「かず・かたち検定」の模擬検定（幼児向け）	【配布】数検の過去問・情報誌・ノベルティの配布
9	特定非営利活動法人 教育支援協会南関東	①だがしや楽校		

4. 会場案内図



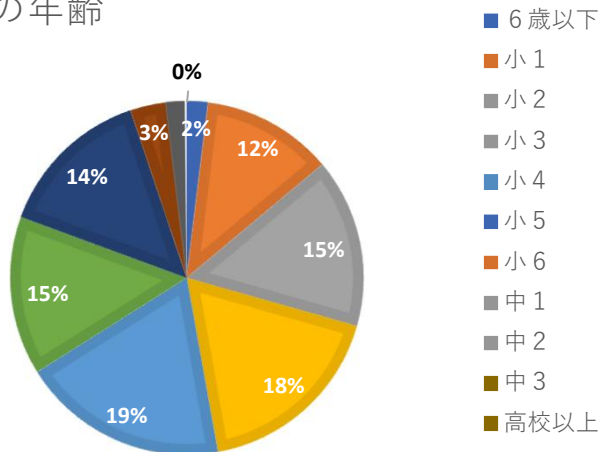
5. 参加者アンケート結果

対 象：来場した引率の大人の方々
 回収枚数：524枚（8月1日 292枚、 8月2日 232枚）
 回収率：66.5%（配布枚数：787枚）

注：割合は子どもの総数より算出

参加した子どもの年齢

参加した子どもの年齢を聞いたところ、総数は619人で、**7歳～12歳の小学生が94%以上**と圧倒的に多かった。中学生の参加は5.3%と昨年より少し増加したが、小学生以下は2.0%、高校生は0%と減少した。

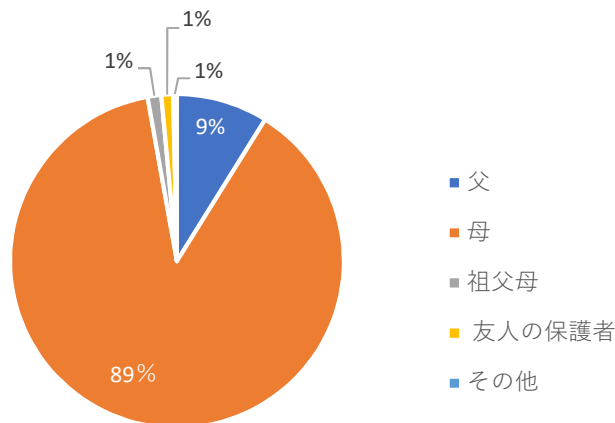


	6歳以下	低学年	中学年	高学年	中学生	16歳以上	合計
人数(人)	12	170	227	178	32	0	619
割合	2.0%	28.0%	37.4%	29.3%	5.3%	0%	100%

注：割合はアンケート回収枚数より算出

引率者の属性

引率者は昨年同様「母」が一番多くて89.3%、「父」は9%だった。
 「祖父母」や「友人の保護者」はそれぞれ1%と少数だった。



	父	母	祖父母	友人の保護者	その他	合計
人数(人)	47	468	7	6	2	524
割合	9.0%	89.3%	1.3%	1.1%	0.4%	100%

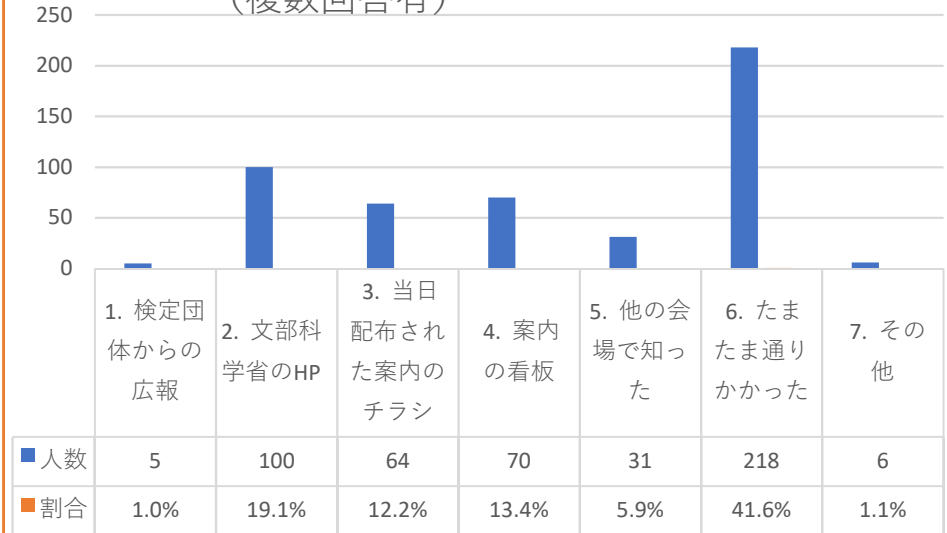
5. 参加者アンケート結果

注：割合はアンケート回収枚数より算出

単位：人

1. このプログラムを何で知りましたか？

(複数回答有)



「このプログラムを何で知ったのか」という問いには、「**たまたま通りかかった**」が最も多く**41.6%**、次に多い「**文部科学省のHP**」(**19.1%**)「**案内の看板**」

(**13.4%**)の倍以上となった。

「検定団体からの広報」については1%だった。

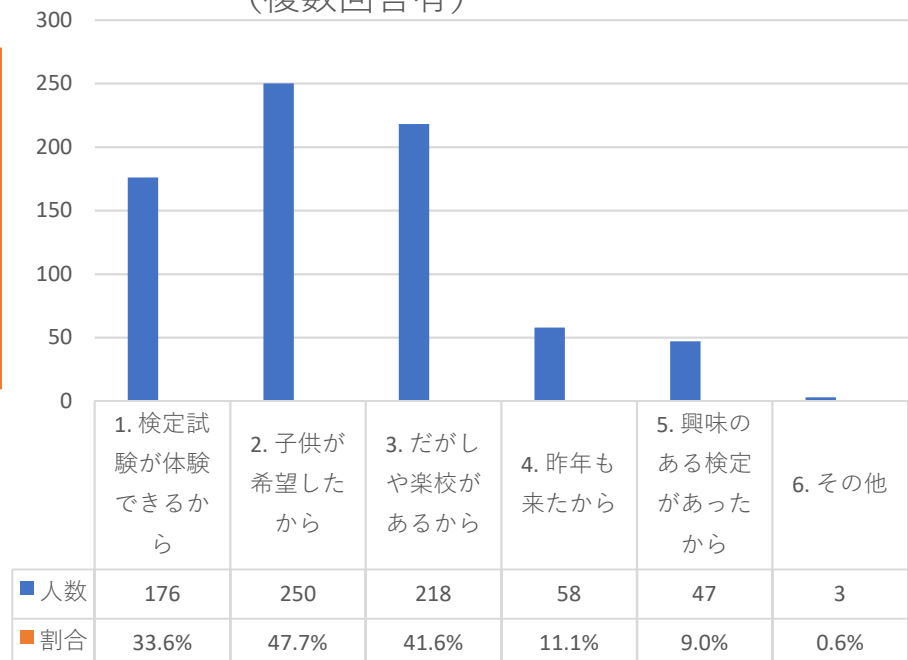
その他には「友人のすすめ」「昨年も参加して」「呼び込み」などがあつた。

注：割合はアンケート回収枚数より算出

単位：人

2. このプログラムにご来場いただいた理由

(複数回答有)



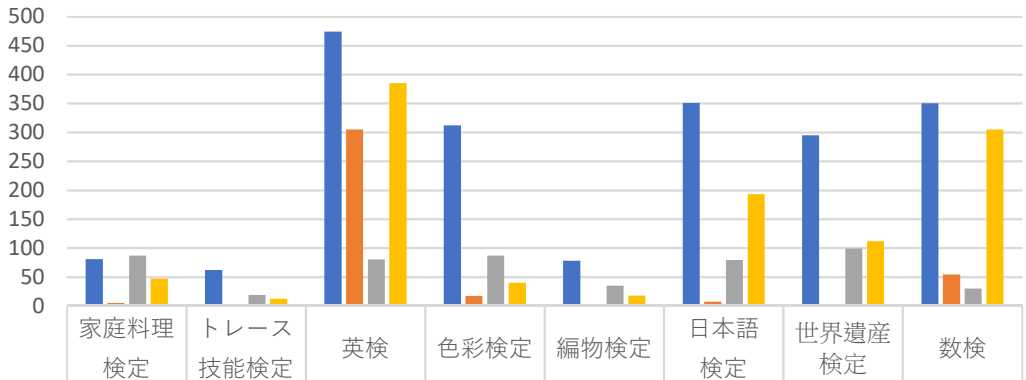
「**子供が希望したから**」が最も多く、

「**だがしや楽校があるから**」「**検定試験が体験できるから**」が続いた。その他には「**3年連続で参加した**」という方もいた。

5. 参加者アンケート結果

3.当てはまるところすべてに○を記入

単位：人



	家庭料理検定	トレース技能検定	英検	色彩検定	編物検定	日本語検定	世界遺産検定	数検
■①ご存じだった検定試験は？	81	62	474	312	78	351	295	350
■②受検したことがある検定試験は？	5	1	305	17	2	7	0	54
■③ご自身が受検してみたい検定試験は？	87	19	80	87	35	79	99	30
■④子供に受けさせたい検定試験は？	47	12	385	40	18	193	112	305

「①ご存じだった検定試験は？」は下記【参考】で、昨年度と比較した。
 「②受検したことがある検定試験は？」ではやはり英検の受検経験者が多かった。
 「③ご自身が受検してみたい検定は？」では世界遺産検定が最も多かったが、その他は家庭料理検定、英検、色彩検定、日本語検定も80-90人と差がなかった。
 「④子供に受けさせたい検定試験は？」では英検が385人と多く、数検が305人、日本語検定が193人とつづいた。

【参考】①「ご存じだった検定試験は」H29年度結果と比較

	家庭料理検定	トレース技能検定	英検	色彩検定	編物検定	日本語検定	世界遺産検定	数検
H29年度	28 (5.1%)	18 (3.3%)	248 (44.8%)	139 (25.1%)	30 (5.4%)	188 (34.0%)	141 (25.5%)	179 (32.4%)
H30年度	81 (16.5%)	62 (12.7%)	474 (96.7%)	312 (63.7%)	78 (15.9%)	351 (71.6%)	295 (60.2%)	350 (71.4%)

「①ご存じだった検定試験は？」では英検が96%以上、日本語検定、数検が60%以上と多かった。昨年度と比べると**全団体が倍以上**となった。検定試験の認知度が高まっている。

5. 参加者アンケート結果

4.参加しての感想（自由記述）

単位：件

主な意見

楽しかった・勉強になった（140）

エコマネーで買い物できる仕組みがよかった（66）

いろいろな検定試験があることを知った・驚いた（32）

検定試験を体験できてよかった（25）

検定試験に興味を持つことができた（16）

勉強のきっかけや意欲につながる（10）

参加しやすかった（9）

試験問題がもらえてよかった（8）

色々な検定試験が一か所で出来てよい（8）

実際に受けてみようと思う（5）

大人も体験してみたい（5）

幼児も楽しめた（3）

お土産がもらえてうれしい（3）

プログラムについての感想は「**楽しかった・勉強になった**」という感想が一番多く、次いで「**エコマネーで買い物できる仕組みがよかった**」という意見が多かった。**検定試験を一か所でまとめて体験できる**ことが参加者にとって様々な検定を認知するきっかけとなり、大きなメリットであるといえる。検定試験を受検することへのハードルが下がり、「**実際に受けてみようと思う**」という声もあった。また、検定試験の過去問の提供も好評であった。

5. 参加者アンケート結果

5.お気づきになった改善点（自由記述）

単位：件

主な意見

会場を広くしてほしい（17）

待機列が分かりにくい（10）

待ち時間が長い（9）

混んでいる（9）

親や幼児の待つ場所がほしい（9）

床のテープが分かりやすい（4）

他の検定も知りたい（4）

体験の座席を増やしてほしい（4）

導線が分かりづらい（4）

その他

幼児でもできる体験を増やしてほしい

もっと大々的に開催してほしい

駄菓子じゃなくて文房具にしてほしい

対象年齢を書いた看板がほしい

整理券があるといい

スタッフが少ない

仕組みの説明がなくよく分からなかった

子どものみの入場にしてもいいと思う

親が代わりに並んでいるのはどうなのか

今のままでよい

「会場を広くしてほしい」「混んでいる」という意見が多かった。「待機列が分かりにくい」という意見があったが、逆に「床のテープが分かりやすい」という意見もあり、やはり床が見えないほど混雑してくると混乱が生じやすいようだ。

「親や幼児（ベビーカー含む）の待つ場所がほしい」という意見も多かった。入口で「検定試験体験プログラム」の趣旨説明を徹底していたが、「仕組みの説明がなくよく分からなかった」という声があった。入口以外でも説明のフォローをし、抜けがないように検討する必要がある。

改善点ではないが、「もっと他の検定も知りたい」「もっと大々的に開催してほしい」などの要望があった。「今のままでよい」「ブーススタッフの対応が良かった」「来年も参加したい」という意見もあった。

5. 参加者アンケート結果【参考：参加者アンケート票】

2018年 8月 1日 ・ 2日

特定非営利活動法人 全国検定振興機構 事務局

こども霞が関見学デー 「検定試験体験プログラム」参加者アンケート

本日は、「検定試験体験プログラム」にご来場いただきまして、ありがとうございます。今後の運営の参考にさせていただきますと思いますので、下記のアンケートのご協力お願い致します。

参加されたお子様の学年 または年齢		ご記入者とお子様との 関係 (該当する一つに○を つけてください)	父 ・ 母 ・ 祖父母 ・ 友人の保護者 その他【 】
----------------------	--	---	--------------------------------

(1) この「検定試験体験プログラム」～だがしや楽校のイベントは何でお知りになりましたか？

該当するものすべてに○をつけてください。

1. 検定団体からの広報 2. 文部科学省のHP 3. 当日配布された案内のチラシ 4. 案内の看板
5. 他の会場で知った 6. たまたま通りかかった 7. その他 ()

(2) いただいた理由に該当するものすべてに○をつけてください。

1. 検定試験が体験できるから 2. 子供が希望したから 3. だがしや楽校があるから
4. 昨年来たから 5. 興味のある検定があったから 6. その他 ()

(3) 下記の表で当てはまる箇所すべてに○をつけてください。

検定名	ご存知だった 検定試験は？	受検したことがある 検定試験は？	ご自身が受検してみた い検定試験は？	子供に受けさせたい 検定試験は？
家庭料理検定				
トレース技能検定				
英検				
色彩検定				
編物検定				
日本語検定				
世界遺産検定				
数検				

(4) この「検定試験体験プログラム」～だがしや楽校についての感想をお聞かせください。

--

(5) お気づきになられた改善点などがありましたら、ご記入ください。

--

6. まとめ

◇出展団体について

今年度も8団体が検定体験ブースを出展して行った。検定団体にとって出展する大きなメリットは、普段コミュニケーションをとることの少ない子どもや保護者との直接的な交流にある。保護者から生の意見が聞けることや、幅広い世代にPRすることができる貴重な機会となっている。各検定団体が毎年参加者にあわせて問題内容や体験プログラムを企画し、飽きさせない工夫を凝らしている。今回、体験者に過去問やノベルティを用意したことは好評だった。また、他団体と交流ができることもよい刺激となっていた。

◇会場について

例年通り、かなりの混雑となった。待機列の乱れや、体験ができないなどの混乱を防ぐためには、導線の明確化が求められる。待機列については、二日目から「最後尾」など分かりやすい目印を用意し対応にあたった。保護者の待機スペースがなく、混雑の一因となった。ベビーカーでの来場も多く、置いておくスペースがなく危険だと感じた。保護者の待機場所とベビーカーの置き場所を確保することは来年の大きな課題である。より広い会場の確保が求められる一方で、会場を2部屋に分けるなどの対応も検討していく。

◇アンケート結果について

来場者は例年通り小学生が94%を占めていた。しかしながらアンケートでは、幼児や中学生も楽しめたという声が聞かれた。このプログラムを知ったきっかけは「たまたま通りかかった」が最も多かった。来場した理由の多くは「だがしや楽校があったから」であるが、はじめは駄菓子目当てだった子どもたちが真剣に体験している姿を見て、保護者から「良い体験になった」との意見をいただいた。検定受検対象年齢とはややずれがあるものの、今後の受検に大いに期待できる。各検定団体の認知度も大幅に上がり、検定試験への興味関心度の高まりがわかる。保護者自身も体験したいとの声があがっているため、保護者も受検者につながるような仕掛けを検討していきたい。アンケートを書く場所がなく、回収率は66%となったが、こまめにアンケート内容をチェックすることで、すぐに改善することができた。

◇今後の展望

毎年課題となっている人員の不足に関しては、今年度新たな取り組みとして中高生ボランティアを募り、待機列整理などのお手伝いをお願いした。検定団体からは大変好評で、「非常に助かった」という意見が多かった。中高生にとっても「やりがいがあった」との声が多く、互いに貴重な体験となった。今後、ボランティア活躍の場を増やすことで、出展にあたっての人員確保というハードルがさがると考えられる。来場者にとっても、多くの検定試験が一堂に集まることは大きなメリットである。体験後に、エコマネーで買い物が出来る仕組みについては、会場の一体感が増し、子どもたちの参加意欲向上に繋がっている。この取り組みが文部科学省全体に広がり、一体感を高めることで今後の「こども霞が関見学デー」がさらに盛り上がるのではないかと考える。

特定非営利活動法人

全国検定振興機構

〒105-0003 東京都港区西新橋1-20-10

TEL : 03-3539-3821

FAX : 03-3539-3822

Mail : info@zenken.or.jp